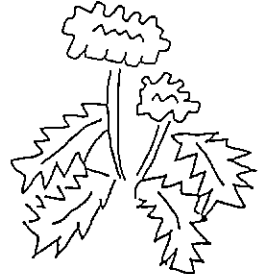


NO 1 6 5  
 H13年3月1日  
 一発行一  
 〒869-1217  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100



傷

園長 松田 健

三歳になる下の息子は八カ月から保育園に通っており、共働きのさがとうか上の子を含め親として後ろめたさを感じることはありません。泣いて保育園に行かないと言う時、真剣に妻に仕事を辞めてもらおうと考える事もあります。

(妻は「収入が低く、私が専業主婦に専念する。自分の親も共働きだったの

で自分はそうさせたくないと思っていた時期もありました。今こそ共働きは珍しくなくなりました。いろいろな犠牲の上に成立しているのは同じです。共働きだから収入が二倍になっていいと言われますが、本気でそう言っているのかと疑いたくなります。

下の息子は、家では元気がいいのですが保育園ではおとなしいそうです。その子が毎日と言っていいほど体に傷をつけて保育園から

帰ってきます。誰がしたか聞いても父親には言いません。母親にも

ずつと言わなかったのですが、ある日誰がしたか白状したそうです。その子は、保育園でも有名で自分の弟の右腕を折ったりと毎日問題を起こしています。その子に對してどうということはありませんが、保育園の先生が報告しないことに憤りを感じています。

と、ここまで書いた所で何処かで聞いたような話だと思いましたが、そうです、施設での話です。

施設での生活で二十四時間一人をきちんと見れていないというのが現状です。恥ずかしく思います。利用者の他傷行為を止める、傷がないか観察する、きちんと言告するということ徹底してありますが、漏れがあります。八十名も

利用者がいます、「無断外出」や命にかかわるような不適応行動を制止するため常に職員と行動を共に

している利用者が二十名程度いるため動きが取れません、といった

弁明も言いたいのですが、利用者の命を守るといふプロ意識に欠けている人がいます、職員同士の私語が盛んで利用者の方を見ていない人がいます、過去の教訓が生かされていません、といった反省も成り立つと思えます。

先日 保護者の方にアンケートをとりました。ちゃんと報告してほしいということがやはり書かれました。三気の里は故田中稔

施設長という親がたてた施設です。外壁や塀がありません。鍵やセンサーをつけていません。親としての「想い」や思想が根付いています。我々は、受け取っていく必要がありません。しかし、親よりも長い時間一緒にいる職員でなければできないことでもあります。私情を挟まない立場だからこそ厳しくとも本人にとつてよりよい方向へ進むため

のアシストが出来ると考えます。保護者との話し合いの場は毎月設けていますが、三月十日に、膝を交えてお互い傷つくことを覚悟でじっくり話し合います。もっといい三気の里になることを願って。

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。振振り、込み出九口座番号

0197018114902  
 社会福祉法人 三気の会后援会  
 保護者会代表 魚谷 秀文 宛  
 住 所

熊本県菊池郡大津町森54-2

一口 3千円



# 1 王にゅす

## 2 班・楽しいイチゴ狩り

今年も、苺狩りの季節がやって来ました！「Yボックスの苺おいしいよねえ。」という話をすると、意外なことに今の2班ではこれが初めてという答え。果たして、何人が楽しめるのかと、不安な気持ちになりました。

ところが、行ってみてびっくり、途中で食べた“梅屋”のランチセットで皆、はちきれんばかりのお腹をかかえていましたが、苺はベツバラとばかりにパクパク食べました。ふみちゃんは、通路の真ん中に座り込み、両サイドの苺をじっくりと味わいながら進みます。まこくんは、摘んでは食べ、食べてはまた歩くを繰り返す、蝶のように優雅な感じ。あーちゃんは、大きな苺を丸のままほうばって、時々うなって（苦しんで）いましたが、それでも美味しいようで、何個もトライしていました。さとちゃんは、苺摘みには興味を示しませんでした。摘んで来てもらったものは、次からつぎに口にしていきます。その他の皆も、上手に採って、たくさんたくさん、食べました。

「また来年も行きたいなー。」帰りに、“山の上公園”の展望台から有明海の方を見渡しながらかきと皆の気持ちはひとつだったと思いますよ。 坂本

## 3 班・もうすぐ春 - - -

暦のうえでは、春。少しずつ日中の日差しは増し、春の訪れを感じている今日この頃です。先日は、レクリエーションで玉名のY・BOXへイチゴ狩りに出掛けました。天候にも恵まれて、皆で春を満喫し、お腹も満腹になりました。イチゴハウスの中に入ると甘い香りが食欲を増してくれます。それぞれが思い思いのイチゴをちぎり、大きいイチゴばかり探していた、剛くん、誠くん、見た目が小さくても真っ赤なイチゴを選んでいた、稔くん、真一郎くん。青いイチゴだって味わえばおいしいよーと言っているかのように笑顔で食べていた、憲一くん、大介くん。それぞれの性格がかいま見える瞬間でした。

皆の微笑ましい笑顔がたくさん見ることができて、来れて良かったと思うのと、取っても取っても無くならないイチゴにビックリしました。また、イチゴ狩りのシーズンには3班の皆で来れたらいいなあと。 出牛

## 4 班・ポカポカのイチゴ狩り

まだまだ寒さは続きますが、21世紀は早いもので2ヵ月過ぎてしまいました。皆さんは何事もわりなくお過ごしでしょうか。

先日2月8日のレクリエーションは玉名にイチゴ狩りに行って来ました。寒さの続くあいまのポカポカ陽気に恵まれました。しかし風はやはり冷たく…。しかしみんなは元気に出発。まずは玉名の梅屋というお店で昼食を食べました。ペロッと平らげた英くん、潔くん、皆が食べ始めても一人食べずに待っているのは創さん、『コーラ』と運ばれてくるのを待つ亮くん。ビールが飲めずにごっかりするルーさん。続いて向かった場所は、今日のメイン、イチゴ狩り。あれー？みんなどうしたのかな。誰も食べ始めず、一緒に取るうちにコツを覚え黙々と食べる守屋くん、洋ちゃん、食べたいけど素直になれない久美ちゃん。あまりイチゴの好きでない新ちゃんは、お店でパンフレットをもらいニコニコ。のんびりとした一日になりました。

普段は寒いなか外作業にも頑張っている農耕班を応援して下さい。

上野



# 班ニュース 2



## 1班・散歩道

私たち1班は室内作業の忙しい日々を送っています。そんな中、少しですが空き時間がもてるようになり“散歩”を始めました。体力をつける為に始まった散歩ですが、予想外の幸運をもたらしてくれています。……ある日の散歩中、反対方向から手押し車を押しながら一人のおばあさんがゆっくりと歩いてきました。すると突然「こんにちは！」と声がします。誰かと思えば、挨拶上手な龍也くんの声です。職員は驚いていましたが、おばあさんはにこっとして龍也くん「こんにちは」と答え、またゆっくりと歩き出しました。その光景を見て職員一同、思わず笑みがこぼれたのでした。……こんな散歩道での一コマがわたしたち1班にとっては大きな幸せに感じます。なぜなら、室内作業を熱心にしすぎるあまり地域の方との交流の機会が少ない1班に、大津の散歩道が交流の機会を運んでくれたからです。これからも散歩、沢山できるといいな。

平山

## 6班・歩け歩け！

梅の花が咲き誇り、日に日に春の足音が聞こえてくるようです。足音といえば晴れた日の午後、グラウンドからはてくてく軽やかな足音が聞こえてきます。誰の足音かとのぞいてみると…おや、民さんです。民さんは三気の里では最年長の女性。昨年あたりから健康上の理由で、医師から「できるだけ歩くように」と指導を受けていました。これまでは作業の合間にちょっと散歩をするくらいでしたが、それでは効果がないとのこと。1月半ばから思い切って30分から1時間は早歩きをするようになり、毎日のようにグラウンドに足を運んでいるのです。トレーナーにジャージにスニーカー、腰には万歩計をつけてさっそうと歩く姿はとても若々しく、わたしも負けてはいられないと元気をもらっています。歩いて歩いて健康作り、みんなも民さんに続いて歩け歩け。

大賀

## 5班・温室事件簿

柔らかな日差しに心温かな温もりを感じる今日この頃、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。三気の里では梅の木には白い花が、花壇には日本スイセンが咲き誇り、一足早い春を届けてくれています。そして嬉しいことに今年度初挑戦したデージーが「事務所前の花壇」で次々とカワイイ花を見せてくれています。この花壇は駐車してある車によりなかなか人目につきにくい為、デージーをどうしても見たい方は、駐車してある車の後ろをそ〜と通って見て下さいね。

そしてもう一つ嬉しいお知らせです。2月に入り「岩戸の里」での花苗の販売を再開しました。秋に蒔いた種からデージー、リナリア、クリサンセマム、ポピー、金魚草が次々に花を咲かせています。三気の里以外の多くの方に買って頂ける事を願っています。

それではここから本題「温室事件簿」に入らせて頂きます。

①ある雨の日、いつものように温室で作業をしていると、「先生…」と誰かの声が！見るとその人の肩がぐっしょりと雨で濡れているではありませんか。その日以降雨の日は、温室の中で傘をさしてる奇妙な光景が見られるとか…。

②ある朝、岩戸の里へ搬入へ出ようと温室に花苗を取りに行くと、花も葉っぱもポットの土もカチカチに凍っているではありませんか。昔ガソリンのCMで見た光景が現実になるなんて…。

③ある日温室を見学に来た実習生が言いました。「温室なのにどうして寒いんですか？」と。スルドイですねえ。そしてある職員が言いました。「ここはただのハウスです。」と。ショックですねえ…。

今日この班ニュースを読んで我々が5班に、いいえ5班の温室に同情を感じられた方。安くできれば無料の温室（でも雨漏りしない屋根、雨風が防げる窓付）があれば譲って頂きたいと都合よく考えている私達に情報を下さい。よろしくお願いします。

佐藤

## 療育相談

木下 昭二

三気の里では、通常の療育業務（生活指導や作業指導）の他に、外部からの療育相談も受けています。開所当時から「自閉症者のための専門施設に……」を謳い文句にこれまで十四年余り試行錯誤してきました甲斐あって、今では少しずつではありますが、「自閉（者）」の事はまず「三気」に「と言って下さる方の声も耳にするようになりました。（決して自慢している訳ではありません。内情的には多々問題を抱えているのも事実です。）

私も、立場上外部の方からの療育相談の場に同席させて頂くことが、この一年でも数回ありました。自閉症、自閉的傾向、広汎性発達障害、高機能自閉症……等々その「個」の示す状態、様態から微妙に診断名も変わるように、その相談内容も非常に多岐にわたっていて、中には私たちが経験したことが無いようなタイプの方が居られたり、即答出来ない事もあったりして、場合によっては職員間に待

ち帰って話し合い、後日指導方法のポイントをお知らせすることもありました。日頃から自閉症者の人達に関わっている私たちでさえそう言った事があるのに、ましてや他の自閉症者の方々の回りの療育環境状況はどうなっているのだろうかと危惧することさえあります。話しが少し逸れてしまいました。が、先日の相談時の話しですが、（守秘義務の関係で、お伝え出来る範囲でお知らせします。）相談に来られた方は自分でも子供さんの状態を掴もうと努力されていて、自分なりにその障害についても勉強をされていきました。施設での生活の決まった場面・時間帯に他傷行為の見られるAさんを「その時間帯だけでもしっかり見てもらえないか」と職員に依頼されたところ「人手」を理由に断られ、連絡帳には「今日も〇〇さんに対して他傷行為をしたので保護者の方に謝っておいて下さい。」と記されているとのことでした。良く話しを伺うとAさんが「他傷行為に至る理由」もはっきりしていて、しかも前述の通り「場面・時間帯」すらも解っているにも拘わらず、

他傷行為を止められないのであれば、明らかにそれは対応する職員側に問題（過失）があるとしか言いやうがない状態である。確かにAさんは力も強いようで、ひとたび興奮状態・他傷行為に入ってしまうと、女性職員では容易に止めることが難しいのは推測出来るが、注意深く観察していると（他傷行為・興奮が）『来るな』あるいは、『来そうだな』というAさんの状態のうちに止めに入るか、落ち着かせるようにアプローチするか、それが無理であるのならば、場面を変え等して事前に回避することとはそう難しい事のように思えない。また、相談者としては他傷行為の見られる時間帯に「しっかりと見てもらおう」のが無理であれば、カードを用いてその時間帯に「何をするかを明確にAさんに伝えて欲しい」と提案されたところ職員は「Aさんは、言葉での指示がある程度理解出来るのでカードを使う必要はない」と言われたとのこと。（カードの要否は、個々の状況によって違うので何とも言えないが……）私自身この話を聞いて思ったのは、職員は（現在のA

さんの他傷行為の状況を）『何とかしよう』という気はないのだろうか？ということである。現状で他傷行為を抑制する有効な手立てが無いのであれば「提案」を受け入れて（Aさんの状態・状況が良くなる可能性が少しでもあれば）『何でもやって見よう』という気にならないのだろうか。逆に不思議に思えてしまう程である。

その上呆れたのは……、これ以上は守秘義務上止めておきます。興味のある方は直接お尋ね下さい。結局このケースでは、他の施設の指導員に「どこまで期待出来るのか」解らないので非常にアドバイスも難しいケースでしたが、指導員側に無理のない程度の援助で、しかもAさんの興味を持たれていることを、他傷行為の見られる時間帯に行ってもらおうようなアドバイスをすることで、相談者の方が理解され、納得を示されたのでその時点で終了しました。

私達は施設を挙げて、出来る限り自閉症者の方々とその保護者・関わる人の役に立ちたいと考えています。拙いアドバイスしか出来ないかも知れませんが、困ったこ

とがあったら療育相談にご来園下さい。



ジョブコーチ養成セミナー研修

田邊 剛政

2月1日・2日の二日間、仲町台発達障害センター主催のジョブコーチセミナーを受講してきました。私達にとってまだ耳慣れない言葉ですが、横浜ではもう十年も活動されているとのことでした。

ジョブコーチは障害者の就労支援の一つで、障害者が働ける企業探しから始まり、交渉、そして障害者が企業の中で一人で仕事をしに行けるように、仕事を分かりやすく教える役割があります。電話でのアポイントメント、企業に対するサービスの説明など受講者や講師の方たちが企業側のモデルとなつてやり取りをするという基本的なところのノウハウを教わりました。こう言った内容で講義、演習と内容の濃い、有意義な二日間でした。この研修を無にしないよう施設でも地域との交流を深め利用者の方たちの生活空間が広がるよう努力して行きたいと思えます。

第3回

TEACCHプログラム研究大会

岩本 洋子

1月27・28日に、福岡市にて行われたTEACCHプログラム研究大会に参加しました。

講義では「自閉症スペクトラムの基本的な概念の整理」ということで、アスペルガー症候群も含めた自閉症の子どもや人たちの基本をとらえて、TEACCHプログラムの意義について話されました。分科会では、「くらしを支える療育」と、「個別の指導計画」というテーマに参加しました。個別の指導計画をたてる際は、個人や家族のニーズを生かしたシステムであること、将来を見据えたものであることが大切であり、その為には、家庭や施設、医療間の連携が大変重要になるとの事でした。今回は、家族、教員、療育、医療の専門家などの様々な立場の方々が参加されており、多方面からの意見を伺うことが出来た研修となりました。



自閉症認知発達治療中級セミナー

植本 英也

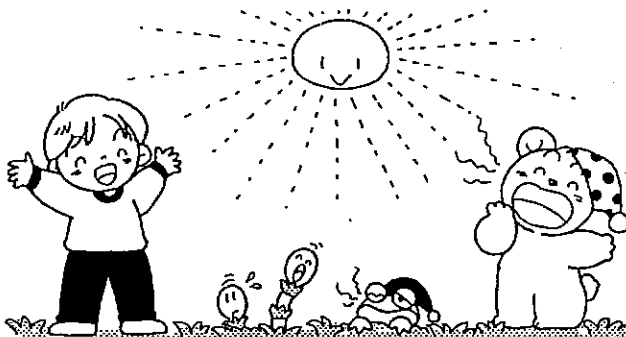
2月3日、4日の2日間、自閉症認知発達治療中級セミナー（東京都・後楽園会館）に参加させていただきました。2日間とも講義を中心にセミナーが行われましたが、太田ステージ分けの意義、異常行動への対処の基本など基礎的な内容が中心でした。1日目は、分科会「こだわりへの理解と対応」に参加しましたが、こだわりに

だわらない、こだわりを全部抑制すると不安定になるなど指導員側は一生懸命指導しているつもりでも利用者側には負担になっていることを話されました。2日目は、TEACCHと認知発達治療の共通点、相違点などについての講義でしたが、1日目の分科会の内容をより深く解説したものでした。今回2日間のセミナーに参加して、日々の指導で悩んでいることに対して解決のヒントを戴き、よい解決策が打ち出せるような気がしています。次回は実際に太田ステージ分けの評価している場面、注意点などを詳しく見聞し、三気の里で利用者全員の発達段階を診断で

できればより適切な指導ができると感じました。

後援会ありがとう

- 牛島 敏章・白井 武士
  - 岡本啓治郎・植本貴美子
  - 西村 栄子・高森 毅
  - 山崎日出男・山口祐規子
  - 那須 二郎・松田 敏子
- ※敬称略



変化

藤原 美佐子

先日、厨房において「食事に関するアンケート」を実施。各個人の身長・体重・日頃の動作・運動量・偏食・健康面・その他要望等を調査項目としました。好きな食品ではダントツ肉類が大人気。魚類は今一歩及ばず後退。少数派の豆腐類・乳製品・牛乳・野菜類は仲良く並んでゴールデン。続きましては嫌いな食品。ナンバー1に輝いたのは野菜類。好きも嫌いも予想通りの顔触れが、栄光の座を射止めた結果となりました。その他お菓子やジュースなどが大好きという意見もあり、皆さんを見るとウーン納得という感じです。

平成十二年九月一日に入所させて頂いて七カ月になります。始めの頃は、入所させてこれでいいのだろうかと自問自答しました。自宅での生活は毎日好きなことをして、あまり我慢の出来ない娘でした。

毎週土・日曜日と帰ってくる度、顔の表情が凛々しくなって身も引き締まってきました。頑張っているんだなと思っついつい「佳子さん偉いね」と言う。「はい」と返事をしてくれます。三気の里での生活が充実しているせいだと思っています。自分にも時間が出来て一緒に作業ができたこと同じ事が共有できるという事がとっても幸せだ」と感じているように思えます。自分の子供だけを見てみるとわからなくても利用者の方々の親を見ると、とっても穏やかな顔がされています。三気の里での生活が充実しているのだと、私は安心して帰って行く月曜日の朝です。

矢野

矢野



節分

山口 裕之

鬼は外福は内パラパラパラ豆の音鬼はこっそり逃げて行く。2月3日は節分です。三気の里でもこの日に節分の会が行われました。

節分には今年1年よい年でありますようにと願いを込めて豆をまき、悪い鬼を追い払うという習慣があります。ここ三気の里では少し違い、豆をまく人は少なく、渡された豆を食べてしまう人がほとんどです。しかし大豆は体にとっても良いので今年1年はきっと健康で過ごせることでしょう。



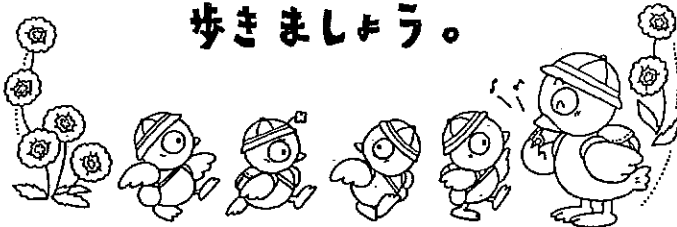
事務日より

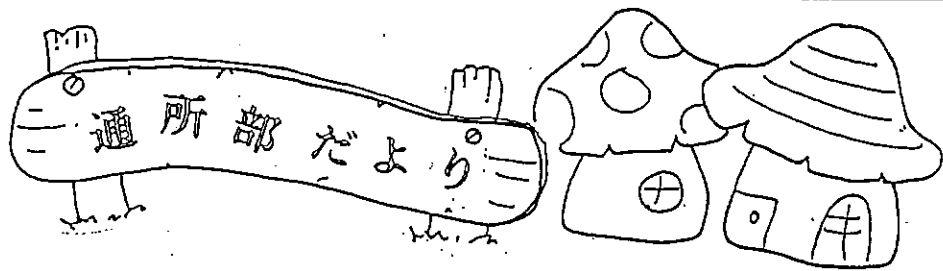
一日一日と夜明けが早くなっていく今日この頃、犬の散歩をしている時に、たんぼぼをみつけて誰よりも早く春を見つけた気分になりました。

春は、別れや出会いがあり仕事の上でも事務手続き等で事務室も慌ただしくなりますが、気持ちの上でもセンチになったり、フレッシュになったりと忙しい季節です。今年も皆様にとってどんな春がきそうですか？

橋口

天気の良い日は  
春を見つけに  
歩きましょう。





### 3月の行事予定

| 日                                      | 月         | 火   | 水         | 木  | 金  | 土     | 備考        |
|--|-----------|-----|-----------|----|----|-------|-----------|
| ①3日・4日・11日・12日・17日・18日・20日・24日・25日・31日 |           |     |           |    |    |       | 休み        |
| ②10日                                   |           | ③7日 | レクリエーション  |    |    | ④19日  | 長谷川くんの誕生日 |
| 4                                      | 5         | 6   | 7         | 8  | 9  | 10    | ⑤休み       |
| ⑥休み                                    |           |     | ⑦レクリエーション |    |    | ⑧保護者会 |           |
| 11                                     | 12        | 13  | 14        | 15 | 16 | 17    | ⑨休み       |
| ⑩休み                                    | ⑪休み       |     |           |    |    |       |           |
| 18                                     | 19        | 20  | 21        | 22 | 23 | 24    | ⑫休み       |
| ⑬休み                                    | ⑭長谷川さん誕生日 | ⑮休み |           |    |    |       |           |
| 25                                     | 26        | 27  | 28        | 29 | 30 | 31    | ⑯休み       |
| ⑰休み                                    |           |     |           |    |    |       |           |



#### 通所部通信

あちらこちらで梅の花が咲き、ほのかな香りが漂い私の心を和ませてくれます。

久しぶりに気持ち良く晴れた日、保護者参加による食事をを行いました。いざ出発！と思いきや外は突然の吹雪でも日頃の行いが良いせいか中華料理「れいきょう」に着く頃には、晴れていましたけどね。

さてさて、豪華な料理が次々と運ばれ、早速、享ちゃんは「ハイ、コーラ」と注文します。乾杯も忘れて皆食べる事に必死です。

宜君の食前酒がいつの間にか空になっていて、「あれ？」なんて慌てて騒いでいると、いつもはポーカーフェイスの宜君が「飲んだ」と笑いながら一言…。

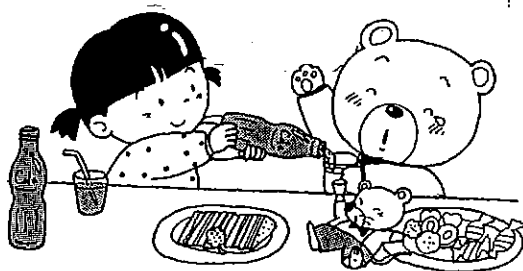
上品な茶色のブラウスで参加した美智子さんは、食べ方も上品に味わっていましたよ。

貴君は少しずつ緊張も解けて笑顔が出始めると「おいすいすい」の連発です。しかもこの日は「んんん、おいすいすい」です。「んんん」がっ

く程満足の料理だったようです。(お母さんは複雑な心境のようでしたが…)

さて、楽しい食事会、でも享ちゃんには心配事がありました。それはチョコをもらえるか！そうバレンタインです。そんな気持ちを知らせてか美智子さんがチョコをくれました。「ありがとう。そしてまいちゃんもくれた(まいちゃんからも欲しい、の意味)」と何度も言っていました。この情熱的で切ない男心は、まいちゃんに伝わったとか伝わらなかったとか…。二人だけの秘密のようです。「ねえ、まいちゃん」

西山



### 3月の行事予定

| 月   | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日                                   | 備考 |
|---|----|----|----|----|----|-------------------------------------|----|
| 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7                                   |    |
| 佳子さん・希久男さん・桜木さん・中原さん・坂梨さん・伊石さん<br>誕生日おめでとう・8日 3班レク・10日 保護者会 2班レク<br>12日 4班6班レク・13日 1班レク・21日 たんぼぼ編集日 |    |    | 1  | 2  | 3  | 4                                   |    |
| 5   | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11                                  |    |
| 12  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18                                  |    |
| 19  | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25                                  |    |
| 26  | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 23日 帰宅バス 退任式<br>26日 5班レク<br>22日 誕生会 |    |



#### ボランティア通信

大津はまだまだ寒く、朝から五センチ以上の霜柱がたっています。が、霜柱から上へと目を移すと梅の花がちらほらと咲き、確実に春が近づいていることを知ります。春は出会いと別れの季節ですね。今まで九年程ボランティアとして何度も三気の里に来てくれていた人が四月に社会人となります。今までもたくさんの方が中学から高校、高校から大学又は、社会人と変わって行き、三気の里のボランティアを卒業して行かれました。社会人になってもずっと遊びに来て欲しいのですが、学生のとくのように時間は取れず、縁が切れてしまっています。そういった意味での別れのさみしさを味わいます。今年新しい生活をスタートさせるボランティアの皆さん良いお付き合いを続けましょう。お待ちしております。

☆生け花

西村 栄子

※敬称略

石丸

#### 編集後記

今年度も残すところあとわずかとなりました。私が三気の里に就職してから早、七年が過ぎようとしています。ちなみにこのたんぼぼ編集に携わっているのも七年……。そうです！入社して以来ずっとこの「機関紙」たんぼぼに携わっている訳です。

現在、たんぼぼの編集は個性の強い五人で行っています。毎月第四金曜日がたんぼぼの編集日となっており、五時ごろから編集を始め、終えるのは十時から遅くても十二時には終えることができています。ちなみに私が入社した当初は十二人で編集を行っていたのに、終えるのはほとんどが十二時を過ぎ、遅い時には三時ごろになる時もありました。それを考えると随分と成長したのだなぁと感じます。気が付けば自分が一番の古株で、こんな私になぜか編集長までさせて戴いています。同期で入社したメンバーはもう一人も残っておらず寂しさも有りますが、若い職員（一応！）と共に今後も頑張っていきたいと思っています。

石井